



自宅で過ごす患者さまの作品展

○ 亀田クリニック 1階薬局脇ロビーにて、「第6回 自宅で過ごす患者さまの作品展」を開催中です。

この作品展は、当院地域医療支援部がひたむきに生きる方たちを応援しようと2012年から取り組んでいる企画で、病気により体が不自由になり、自宅で療養する患者さまの作品を紹介しています。工夫しながら趣味を楽しむ方々の絵画、手芸、短歌等の作品をぜひご覧ください。

なお、前半の展示は5月8日(月)まで、後半の展示は5月10日(水)～6月12日(月)まで開催いたします。



bayfm「MEDICAL UPDATES」

○ 春原佑紀さんがラジオパーソナリティーを務めるベイエフエムの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日午後3時すぎから、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナー(約10分)が好評放送中です。

5月は岩澤れい子認知症看護認定看護師が出演します。

♪癒しの映画音楽コンサート♪

ピアノと歌の演奏家として活動する鷺海由子おしうみゆうこさんによる「癒しの映画音楽コンサート」を5月13日(土)午後3時から亀田総合病院Kタワー1階ロビーにて開催します。(参加費無料)

「ムーン・リバー」「エデンの東」「ゴッドファーザー」「フォレスト・ガンプ」など映画音楽を楽しんでいただくコンサートです。興味をお持ちの方はぜひ足をお運びください。

クールビズ励行にご協力を

当院では夏季期間中(5/1～10/31)、施設内の冷房温度を28度に設定し、スタッフの服装をクールビズスタイルとしています。

◆ご来院の際は、ぜひ軽装にてお越しください。

◆スタッフのクールビズスタイルにご理解をお願いいたします。



5/20(土) 春の防災避難訓練



万が一の災害に備え、5月20日(土)午後、火災を想定した春季防災避難訓練を実施いたします。

訓練中は入院患者さまをはじめ、来院者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6/3
(土)



白血病 と言われたら...

6月3日(土)午後1時すぎから、「白血病」をテーマにした市民フォーラムを亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホールにて開催いたします。(定員70名、参加費無料、要申込み)

フォーラムの前半は佐賀大学医学部内科学講座血液・呼吸器・腫瘍内科教授の木村晋也先生を講師にお招きし、「慢性骨髄性白血病の治療最前線」についてお話いただきます。

後半は当院薬剤師が「お薬の飲み方と副作用」について、医事課スタッフが「限度額適用認定証」について分かりやすくお話いたします。ご興味をお持ちの方はぜひこの機会にご参加ください。

◆日時：6月3日(土) 13:15～15:30(開場13:00)

◆場所：亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール

◆申込・問い合わせ先：

5月20日(土)までに、①参加者氏名、②連絡先、③(複数名での参加を希望される場合は)参加人数を添えて、下記まで電話またはFAXにてお申込み下さい。

亀田総合病院 カスタマーリレーション室

担当/岡田・橋本

TEL:04-7099-1230, FAX:04-7099-1231

腎移植について

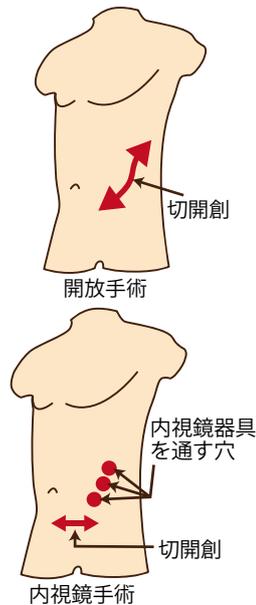
腎移植科 越智敦彦

第5話 「生体腎移植の手術：ドナーの腎採取術」

生体腎移植では末期腎不全の患者さまに健康な人（親族）の腎臓を移植して治療します。腎臓を提供する人はドナー、移植を受ける患者さまはレシピエントと呼ばれます。生体腎移植ではドナーの腎臓を採取するための手術とレシピエントへ腎臓を移植するための手術の2つの手術が必要となります。これらの手術はほぼ同時進行で行われます。第5話では生体腎移植におけるドナーの手術についてお話しします。

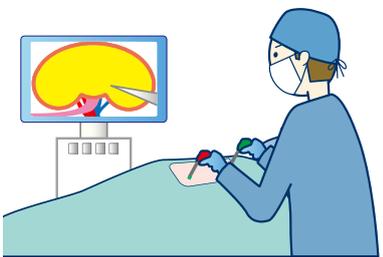
【手術の方法】

これまでは摘出する腎臓側の脇腹を20cm程度切開して、直視下に直接腎臓に触れながら移植する腎臓を採取する開放手術が一般的に行われてきました。現在は手術中の出血や術後の創部の痛みの軽減、回復の早さなどの利点から体に開けた小さな創から内視鏡（カメラ）や手術器具を挿入し腎臓を摘出する内視鏡手術も行われるようになってきました。当院でもドナーの腎採取術は内視鏡手術によって行います。

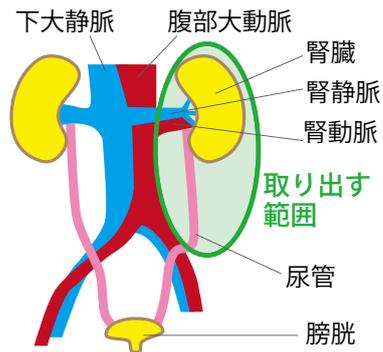


【手術の流れ】

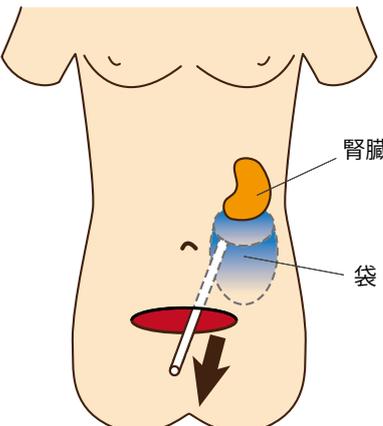
手術は全身麻酔で行われます。採取する腎臓が上側になるように、からだを横向きにして脇腹に3~4カ所の5mm~1.5cm程度の穴を開けます。この穴にカメラや手術器具を



体内に通すポートと呼ばれる器具を挿入します。カメラで写した体内をモニターで確認しながら、専用の手術器具を用いて腎臓の周囲を剥がします。腎臓の血液の通り道である血管（腎動脈、腎静脈）と尿の通り道である尿管を切って取り出せる状態にします。



下腹部を横向きに5~7cm程切開し、ここから袋に入れて腎臓を取り出します。この創は下着に隠れる位置であり術後もあまり目立ちません。創を閉じて手術が終了となります。手術時間は通常2~3時間程度です。



【術後の経過】

術後の経過に問題がなければ、手術の翌日から立位歩行や食事摂取が可能となります。術後3日程度で退院できるようになります。

下腹部の切開創から腎臓を袋に入れ取り出す

退院後は日常生活を行うことに特に支障はありませんが、片腎となるため残された腎臓の機能を悪くしないように注意する必要があります。残った方の腎臓にかかる負担が大きくなると、血圧が高くなったり尿に蛋白が出てきたりします。基本的に、片方の腎臓を提供することでドナーの腎臓の機能が極端に悪くなり透析が必要になるようなことはないと言われておりますが、定期的な腎機能評価、体重や血圧の管理、禁煙、糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病に注意するための通院が必要となります。当院では腎臓高血圧内科の外来に定期通院して、経過観察していきます。

第6話では腎移植におけるレシピエントの腎移植術について、詳しくお話ししたいと思います。

医師紹介

まさき ひでかず
正木 英一 医師



- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言

- ①放射線科（顧問）
- ②放射線治療
- ③ゴルフ、スキー、ヨット
- ④30年間の小児がん放射線治療の経験を生かし、患者さまへのやさしい放射線治療を心がけます。